



20240307

校長の戯言 ♪ No.3 ♪ SEISHUKAN あ・ら・かると

鹿児島県立川薩清修館高等学校長 幸多優



■体育館大改修

体育館が昨年7月より大改修のため使用できずにいた。この卒業式に間に合うのか心配しながら年が明けた。嬉しいことに卒業式の2週間前に改修工事の全てが終了し、無事に卒業式を迎えることができた。



■卒業式

3月1日は春日和に包まれ、梅の香りが漂う中、第15回卒業式を開催することができた。担任の真剣で何か寂しげな表情も感無量であった。私にとっても昨年の修学旅行で、この卒業生たちと二泊三日を共に過ごした思い出深い学年である。一人一人の笑顔と美しい瞳の眼差しが輝いた最高の一日となった。最後の学級活動が終わっても生徒たちは思い思いの場所や後輩・職員と別れを告げていた。保護者も一緒に最後まで子どもの様子を温かく見守っている姿が微笑ましかった。



■卒業式の舞台裏では

卒業式の儀式曲は通常生徒たちが生演奏する方が学校らしいのだが、本校の吹奏楽部は現在、初心者が数人で活動しているため、昨年度の卒業式から私が演奏を行っている。入場はバッハの「G線上のアリア」、退場はGReeeeNの「キセキ」を演奏。今回のピアニストは県内で活躍している井上美涼さんに協力いただいた。生徒たちに私たちの想いが届いていると嬉しいなあ。

